



不登校の児童生徒の保護者のみなさんにお便りします

やまびこ



兵庫県立但馬やまびこの郷
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~yamabiko->

うれしいお便りをいただきました

「但馬やまびこの郷を利用して、子どもが変わりました」というお便りを保護者の方からたくさんいただきます。次のお便りは、そのうちの一通です。

大きな変化もあるでしょうし、小さな変化もあるでしょう。変化をそのまま受け止め、そのことについて喜び合えるって、とても大切なことですし、とてもステキなことですね。

梅雨の中休み、ひさしぶりの青空が気持ちいい一日となりました。

さて、この度、我が子が予定通りトライやる・ウィークに参加できました。毎日、遅刻、早退なく、最後まで友達と一緒に活動できた事が嬉しくご報告させていただきます。連日忙しく、毎日疲れて帰ってきましたが、表情は明るく充実しているようでした。

友達との関係も、初日こそ緊張して憂鬱そうでしたが、翌日からは元気に集合場所へ行き、話をしたりして自信もついてきた様でした。このまま教室へと期待していたのですが、今週は、別室に通っています。

1、2回目のやまびこの郷での体験が、今回のトライやる・ウィークへ参加する自信につながったと感謝しています。5月にやまびこの郷から帰ってきてからは、外で自分から体を動かす時間も増えてきました。勉強も、ほんの少し・・・だけ、やる気になってくれています。何より笑顔で私達に話しかけてくれる回数が沢山増えました。

まだ、しばらく別室登校が続きそうですが、焦らずに我が子が自分から「教室へ行く」と言ってくれるのを待ちたいと考えています。こんな風に私が考えられる様になったのも、皆様のお陰です。

時期をみて、また、やまびこの郷でお世話になりたいと思っています。
今後とも、これまで同様、温かいご支援の程、よろしくお願い申し上げます。





子どもの心身の 痛みとその理解

私は、30数年にわたって、大学付設の心理教育相談室や出向するこども病院などで多くの不登校児に関わってきました。その中で、不登校の子どもを抱えた保護者の方々の苦悩には、察するに余りあるものがあることを痛感してきました。

ある日、突然「頭が痛い」といってわが子が登校しづりを始め、しだいに自室に閉じこもるようになり、無理に登校させようとすると、お母さんに手を上げるようになったりします。

「不登校ってなに？」と思っていた我が家で、まさか自分の子どもが不登校になるなんて信じられないというのが現実で、本人もさることながら、保護者の方のとまどいと不安には他人事ではない深刻なものがあります。しかし、文部科学省も指摘しているように「不登校はどの子にも起こりうる」問題で、いま全国で不登校の児童生徒はおよそ12万人あり、我が兵庫県でも約5,200余名の子どもたちが不登校状態にあります。

小紙「やまびこ」は、サブタイトルに「不登校の児童生徒・保護者のみなさんにおたよりします」とあるように、当所と家庭を結ぶ機関紙です。

そこで、この第24号と次号にわたり、「家庭での子どもへの働きかけ」と題して、紙上セミナーを連載します。今回は、「子どもの心身の痛みとその理解」についてお話ししてみることにしましょう。

子どもが、朝、登校時になると頭痛・腹痛・吐き気などを訴え、登校を拒否し始めると、保護者のみなさんは、最初は身体病ではないかと思われ、近くの病院で診察を受けられることと思います。しかし、特に病変が見いだせず「しばらく様子を見てみましょう」ということになることが多いのではないのでしょうか。そして、登校時に訴えていた頭痛・腹痛も、昼前になるとケロッと治まった様子で子どもが遊んでいる姿を目にすると、これは仮病ではないかと思われたことはありませんか。

これは、決して怠けやさぼりなどに基づいた仮病ではなく、本当に痛みを感じているのです。少しむずかしい話になるかもしれませんが、人のストレスについて説明をしましょう。

人間は、日頃から嫌なこと、辛いこと、悲しいこと、困難なこと、心が傷つくことに出会うと、ストレスとして大脳の新皮質に影響を与え、ストレス状況に陥ります。この時、これらのストレスに対して適切な処理ができればよいのですが、子どもは心身ともに未

遊具広場が完成!

平成19年度末に、虹の館横の広場に3種類の木製遊具を設置しました。

雲梯(うんてい)、丸太ステップ、平均台です。

「昔やったけど、できるかなあ」「もう筋力ないし」などと言いながら雲梯に挑戦する子。丸太ステップと平均台を使い、ジャンケンによる陣取りをする子。

入所初日の「お互いを知ろう」の活動に、新しいメニューが加わり、子どもたちの外での歓声が大きく聞かれるようになりました。

4月からの入所者の中で雲梯に挑戦し、最後までたどり着いた子は、まだ4人。子どもたちの前でかっこよく見本を見せようとはりきるスタッフは、そのたびに筋肉痛に...

当所にお越しの際は、この広場にも、ぜひ足をお運びください。



事業のご案内

地域やまびこ教室

「地域やまびこ教室」は、但馬やまびこの郷のスタッフが、県下7会場に出かけ、不登校及び不登校傾向の児童生徒・保護者のみなさんとともに、料理やスポーツなどの体験活動や交流会を行う事業です。

外へ出て仲間とふれ合う機会として、ぜひご参加ください。

参加の申込方法については、当所までお問い合わせください。

「地域やまびこ教室」期日と会場

	期日	会場
1	7/22(火)	県立有馬富士公園
2	7/24(木) ~25(金)	県立西はりま天文台公園
3	8/12(火)	高砂市文化会館
4	8/21(木) ~22(金)	三木ホースランドパーク
5	9/25(木) ~26(金)	国立淡路青少年交流の家
6	10/15(水)	県立丹波年輪の里
7	10/17(金)	尼崎市立青少年センター

不登校をともに考える会

不登校児童生徒の保護者の方を対象に実施します。

緑豊かな但馬やまびこの郷で、不登校についてみんなで考え合ったり、調理や製作活動、サイクリング等の体験活動をしたりして、ゆったりとした1泊2日を過ごしてみませんか。

期日 9月6日(土)~7日(日)

会場 県立但馬やまびこの郷